

## 令和2年度 事業報告書

### (1) 法人としての取り組み

#### ①新型コロナウイルスへの対応について。

新型コロナウイルスの基本対策を早急に整備し、実施した。4月の緊急事態宣言中は保護者の協力もあり、出席者数は1/10にまで減らすことができた。その上で家庭での保育を支援するため、「家庭支援チャンネル」を配布し、保育士による手遊びや歌の動画で家庭支援をする取り組みも行うことができた。一方で親子遠足や園祭りなど、行事の性質上、感染防止対策が困難なものに関しては中止とした。次年度以降、感染状況に応じて実施を検討していく。

その他日常における具体的な対策は「かみこまつ保育園新型コロナウイルス感染基本対策方針」を参照願いたい。

職員に関しても、陽性者や濃厚接触者に指定された場合など、ケースに分けて対応を周知する、緊急事態宣言中の在宅勤務の場合においても賃金をできるだけ保障するなど、安心して働ける職場環境作りに努めた。

#### ②給食職員増員について

年度の途中より、調理スタッフを増員する。それにより、煩雑化するアレルギー対応や保育士からの要望に柔軟に対応できる環境を整えた。また月に1度の給食会議を実施し、保育と調理とで意見交換をすることで、円滑に保育に活かす体制を整えた。

#### ③ノンコンタクトタイムの実施について

職員の労働環境の取り組みとして、子どもと離れる時間（ノンコンタクトタイム）を実施する。以前はお昼寝している子どもの側で休憩を取っていたが、職員の体制を整える事で、子どもから離れてリフレッシュする時間を設けられる事ができるようになった。

#### ④安全対策の向上について

例年は地震・火災を想定した避難訓練を行っていたが、今年度は初めて水害を想定した避難訓練を実施した。高層階に避難し、職員や子ども達にとっても水害を意識する訓練となった。

また、保護者に対しては安全安心メールを希望者加入だったのを、全員必須加入に切り替えた。これにより、緊急時は一斉に保育園から保護者へ連絡することが可能となった。しかし、相互でのやり取りが困難であるため、保護者との情報交換ツールは次年度への課題となる。

#### ⑤職員の研修について

新型コロナウイルスの影響により、外部での研修をすることが困難な状況が続く。その対応として、園長主導のもと、園内研修を月に1度行う。研修動画や日々の保育に関して議論する場を設け、職員の専門知識向上を図った。キャリアアップ指定研修やオンラインでの研修制度が整ってきているので、次年度以降は積極的に研修に参加できるよう整えていく。

#### ⑥LineWorksの導入について

試験的にLineWorksを導入する。これにより、日頃の伝達事項から緊急時など、職員間の情報共有が円滑に行えるようになる。一方で、ファイル共有ができない為、ファイルの共有が全体で行えるとより、効率的に業務が行える事が判明する。

職員間の情報共有は次年度の課題とする。

(2) 保育の報告

保育の内容は安全性を最優先に、人権に配慮しつつ、落ち着いた、基本に忠実な良質の処遇となるよう全職員で取り組み、保育指針への適応にも取り組んできた。なお、保育の詳細については、「2020年度 保育の報告書」を参照願いたい。

(3) 給食・食育の報告

別紙「給食・食育の報告」を参照願いたい。

(4) 保健の報告

別紙「保健報告」を参照願いたい。

(5) 苦情解決

苦情解決委員が招集される苦情はなし

\*人員構成（看護師、主任保育士等を除く。）

年齢	クラス名	クラス定員 ( ) 内は3/1実員	保育士配置数
0歳児クラス	ひよこ組	9名(9)	3名
1歳児クラス	あひる組	12名(12)	2名
2歳児クラス	ひばり組	12名(12)	2名
3歳児クラス	うさぎ組	12名(12)	1名
4.5歳児クラス	くま・ぞう組	25名(24)	2名
計		70名(69)	12名
一時保育	りす組	(~5名)	(2名(兼任))

職員---18名 ほかに非常勤職員等16名